薬剤情報

2026-2月　No.34

１．採用薬品情報（2026/2/2　薬事審議会）

１）新規採用薬剤

①アネレム静注用５０ｍｇ、２０ｍｇ
薬価　50mg：¥2,218　　20mg：1,540

【薬効分類】全身麻酔・鎮静用剤
【効能・効果】
１）．全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
２）．消化器内視鏡診療時の鎮静。
【用法・用量】
〈全身麻酔の導入及び維持〉
〈導入〉
通常、成人には、レミマゾラムとして１２ｍｇ／ｋｇ／時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。
〈維持〉
通常、成人には、レミマゾラムとして１ｍｇ／ｋｇ／時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は２ｍｇ／ｋｇ／時とする。なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。覚醒徴候が認められた場合は、最大０．２ｍｇ／ｋｇを静脈内投与してもよい。
〈消化器内視鏡診療時の鎮静〉
通常、成人には、レミマゾラムとして３ｍｇを、１５秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも２分以上の間隔を空けて、１ｍｇずつ１５秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。

②スピジア点鼻液１０ｍｇ、７．５ｍｇ、５ｍｇ
薬価　10mg：¥10,120　　7.5mg：¥9,337.6　　5mg：¥8,336.5

【薬効分類】抗けいれん剤
【効能・効果】
てんかん重積状態。
【用法・用量】
通常、成人及び２歳以上の小児にはジアゼパムとして、患者の年齢及び体重を考慮し、５～２０ｍｇを１回鼻腔内に投与する。効果不十分な場合には４時間以上あけて２回目の投与ができる。ただし、６歳未満の小児の１回量は１５ｍｇを超えないこと。

③ナルティークＯＤ錠７５ｍｇ
薬価　¥2,923.2

【薬効分類】経口ＣＧＲＰ受容体拮抗薬
【効能・効果】
片頭痛発作の急性期治療及び片頭痛発作の発症抑制。
【用法・用量】
〈片頭痛発作の急性期治療〉
通常、成人にはリメゲパントとして１回７５ｍｇを片頭痛発作時に経口投与する。
〈片頭痛発作の発症抑制〉
通常、成人にはリメゲパントとして７５ｍｇを隔日経口投与する。

２）後発品・メーカー変更・規格追加薬剤

規格追加：トルバプタンＯＤ錠３．７５ｍｇ「ＴＥ」

3）削除品目

・チクロピジン塩酸塩１００ｍｇ「サワイ」　→販売中止のため
・ブラダロン錠２００ｍｇ　→販売中止のため

２．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

- ゾフルーザ顆粒２%分包
- スピジア点鼻液５ｍｇ、７．５ｍｇ、１０ｍｇ
- 〔東洋〕桂枝加黄耆湯エキス細粒

３．医薬品安全性情報

●ツイミーグ塩酸塩（イメグリミン）

販売名（会社名）	ツイミーグ錠500mg（住友ファーマ株式会社）
薬効分類等	糖尿病用剤
効能又は効果	２型糖尿病

《**使用上の注意**（下線部追加改訂部分）》

11. 副作用
11.1 重大な副作用
（新設）　重度の食欲減退，嘔吐
食欲減退，嘔吐から脱水状態に至った症例が報告されている。

〈参　考〉　医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例†のうち，医薬品と事象との因果関係が否定できない症例
【国内症例】
７例（うち，死亡０例）
†：MedDRA PT「食欲減退」，「嘔吐」に該当する国内症例のうち，CTCAE（ver.5.0）Grade ３以上の症例
企業が推計した過去１年間の推定使用患者数：約320,454人
販売開始：ツイミーグ錠500mg：2021年９月

４．添付文書改訂情報

●ツイミーグ塩酸塩（イメグリミン）

本剤と重度の食欲減退、嘔吐との因果関係が否定できない症例が集積したことから使用上の注意を改訂することが適切と判断された。「11.副作用」の「11.1 重大な副作用」の項に「重度の食欲減退。嘔吐」を追記した。

下線は変更箇所

現行	改訂案
11. 副作用 11.1 重大な副作用 （新設）	11. 副作用 11.1 重大な副作用 重度の食欲減退、嘔吐 食欲減退、嘔吐から脱水状態に至った症例が報告されている。